

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-21	講座名	春日井築水の周りの自然と保全
記載日	2022/6/6	団体名・企業名	かすがい東部丘陵自然観察会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

第1回は、自然の家で今日の予定を確認し、弥勒山周辺で見られるスプリングエフェメラル（蝶）の実地観察と同定を2時間30分かけて行う。あわせて蝶の生育環境や自然保護とのかかわりについて学習します。第2回目は、春日井少年自然の家の会議室で築水の森周辺で見られる春の蝶の解説と同定法を30分学び、その後、築水の森周辺を巡りながら蝶の実地観察と同定を2時間かけて行い、あわせて蝶の生育環境や自然保護とのかかわりについて学習します。



※写真1の説明

※写真2の説明

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

第1回目は、小学生の参加があり、弥勒山までの登りは、遅れてしまった。しかし、サブリーダーの付き添いでチョウの話ばかりでなく、枯れた木の幹にいるシロアリの観察など楽しむことができた。チョウの観察だけでは、難しい解説になりやすいが、反対にチョウに関心のある中学生には、第2回目にも参加があり、チョウが専門のリーダーからはいろいろ話が聞け、プラスになったようだ。かすがい東部丘陵自然観察会としても、参加していただく方の考えも参加しながら聞いていくことが必要だと思った。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

チョウの食草やギフチョウ以外のチョウの観察ができた。ギフチョウが見られなくて残念。チョウなどのことをたくさん知ることができた。あとカラスアゲハを初めて見る事ができた。2時間半だったので、弥勒山頂での時間がもう少しあるとよかった。飛んでいるチョウを見分けるのは、難しいと思いました。